




### 1 六丁代官所跡

この代官所は天明8年(1788)～文久2年(1862)に設置され、代田組と滝沢組(現一箕町)を管轄し、藩主の機能を代行して年貢の徴収と司法検察を執行した。

- 所在 B-3 六丁
- 現況 滅失、案内板あり
- ※市道及び踏切そばのため駐車・見学に注意



### 11 戸ノ原白虎隊奮戦地跡

戊辰戦争は慶応4年(1868)8月22日・23日戸ノ原、大野原、強清水において激戦となった。白虎隊士中二番隊37名も出撃した多くの死傷者を出した。

- 所在 E-4 大野原
- 現況 墓碑、案内板あり
- ※市道脇に駐車し注意して見学



### 12 八田野一里塚

この一里塚は二本松下街道に位置し、寛文10年(1670)に8日間、延べ571人の農民人足により築かれた。「若松札の辻」から「塚の前」に次いで二番目の塚となる。

- 所在 C-2 八田野
- 現況 現存、案内板あり
- ※市道脇に駐車し注意して見学



### 13 新四郎塚

荒井新四郎が、万治3年(1660)から大野原新田開拓のために赤井川から新堰普請として進めたためであり、これにより寛文2年(1662)強清水新田村が開村した。

- 所在 E-4 強清水
- 現況 現存
- ※市道脇に駐車し注意して見学



### 14 御殿山

寛政4年(1792)から軍事教練として追鳥狩を実施したが、文化14年(1817)から大野原の御殿山で行われた。追鳥狩の絵は屏風や欄間にも多く取り上げられている。

- 所在 D-4 大野原
- 現況 山林
- ※山林のため注意して見学




### 15 赤井谷地沼野植物群落

(本体は浸地域に所在)

猪苗代湖西岸に形成された湿原で標高520mと低く、高冷地に見られる湿原の特徴を備え、亜寒帯植物などが約200種以上生育している。(国天然記念物)

- 所在 E-4 大野原
- 現況 現存、案内板あり
- ※昭和天皇御碑から見学、内部進入は不可



### 2 切立橋

(近代化産業遺産)

明治23年(1890)にドイツで製造され鹿児島本線で使用されたが、第四発電所建設のため大正10年(1921)この地に架設された。

- 所在 B-1 柏原
- 現況 現存、案内板あり
- ※市道脇に駐車し注意して見学




### 3 融通寺跡

承徳元年(1097)浄縁が自然山融通寺を建立した。融通念仏(声明梵唄)の布教を目的としたものと思われるが、至徳元年(1384)寺は移され、礎石のみが残っている。

- 所在 B-2 冬木沢
- 現況 原野及び山林
- ※周辺は道路がないため見学に注意



### 4 倉道遺跡

倉道遺跡は昭和55年(1980)に発掘調査された弥生時代から古墳時代の集落遺跡で、竪穴住居跡、縄文・弥生土器、石製模造品、紡錘車などが多数出土した。

- 所在 B-3 倉道
- 現況 保存一部発掘調査、水田
- ※市道及び踏切そばのため駐車・見学に注意



### 5 足利館跡

慶長10年(1605)又は元和8年(1622)古河信濃による岡村と言われ、伝承によると先祖は上杉移居の来家で、越後から会津に移住し「原村」として開村した。

- 所在 A-3 田中原
- 現在 足利ギャラリー
- ※私有地のため見学に注意



### 6 日橋川

猪苗代湖を水源とし、地域北側を西に流れ阿賀川に合流する。日橋堰等の取水口として田畑を潤し、また地勢を活かし第一発電所等の水力発電に利用されている。

- 所在 B-2他 北高野地
- 現況 現存
- ※河川のため見学に注意



### 7 大工川

大野原鍋沼を水源とし、八田野、浅野、塩庭を経て、せせぎしに合流する。藤倉二階堂建立時に上流から木材を流し、余材で木流馬頭観音等が建てられた。

- 所在 B-3他 浅野地
- 現況 現存
- ※河川のため見学に注意



### 8 赤呂神社

延命寺参道西側に祀られ、祭神は赤呂姫命で「会津旧事備考」永正古図に「記載がある。一説では、赤呂は銀葉の會長で坂上田村麻呂に征伐されたといわれている。


- 所在 B-3 藤倉
- 現況 現存
- ※延命寺駐車場に駐車し参拝



### 9 延命寺地蔵堂(藤倉二階堂)

大同2年(807)徳一の建立とされ、建物は室町時代のもので推定される。室内厨子に本尊延命地蔵尊が安置され、屋根が二層のため別名・藤倉二階堂ともいわれる。

- 所在 B-3 藤倉
- 現況 現存、案内板あり
- ※延命寺駐車場に駐車し参拝



### 10 加羅陀山延命寺

延命寺地蔵堂の北側にあり同時期の創建と考えられる。本尊は大日如来である。北側の大工川から材木を運び建立された。戊辰戦争で焼かれ詳細は不明である。

- 所在 B-3 藤倉
- 現況 現存
- ※延命寺駐車場に駐車し参拝



### 25 三菱製鋼株田製作所

特殊合金粉末、鋳銅品、特殊鋼銅塊等の製造を行う事業所として、大正13年(1924)の創業以来積み重ねて来た伝統と技術を活かし、自動車や船舶等、幅広い分野に製品を提供している。

- 所在 B-2 冬木沢
- 現況 現存、稼働中
- ※社有地のため見学に注意



### 26 冬木沢の空也念仏踊

大正11年(1922)に東京神田の「空也光勝会」から「空也光勝会」に伝授された踊りで、毎年8月5日午前中に大葉寺空也堂前で奉納されている。

- 所在 B-2 冬木沢
- 現況 継承中
- ※当日は臨時駐車場を利用のこと



### 27 大和田八幡神社

天喜5年(1057)源義家が奥州遠征の途中、石清水八幡宮をこの地に勧請し、戦勝祈願したと伝えられる。明治40年(1907)河沼郡の郷土となり、信仰を集めている。

- 所在 A-2 大和田
- 現況 現存、案内板あり
- ※神社南側に駐車し参拝



### 28 八葉寺阿弥陀堂

康保元年(964)空也上人によって創建されたと伝えられている。「金津高野山参り」として8月1日から7日の参拝が続いている。

- 所在 B-2 冬木沢
- 現況 現存、案内板あり
- ※仁王門西側に駐車し参拝(普通車ののみ、7〜7駐車不可)



### 16 十六橋

郡山市安積原野開拓目的で、オランダ人技師ファン・ドールンにより明治12年(1879)に起工された。日橋川流域等の權益を守るため戸ノロに十六橋が設置された。


- 所在 E-4 大野原
- 現況 現存
- ※市道脇に駐車し注意して見学



### 17 弘法山

大同元年(806)に磐梯山噴火の魔物退散のため、弘法大師が稲荷森山(別名弘法山)で祈禱を行ったとされる。山頂には大師石像が磐梯山に向かって建立されている。

- 所在 C-3 稲荷原
- 現況 現存
- ※市道脇に駐車し注意して見学



### 18 稲荷原の御蔵

稲荷原には延喜2年(1674)から江戸廻米専用の蔵が5棟建たと八田家文書に記されている。米の出荷元は代田組、川組、北方七ヶ組(現喜多方市)であった。


- 所在 C-3 稲荷原
- 現況 滅失、水田
- ※文献による確認のみ



### 19 夜泣き石

大野原の国道49号線近くの戸ノロ原古戦場跡のそばにある。子供の左足型がついた石で、今でも夜泣きする子をおおって参拝すると治るといわれている。

- 所在 E-4 大野原
- 現況 現存、案内板あり
- ※市道脇に駐車し注意して見学



### 20 強清水伝説

強清水の伝説で、働き者の父親が飲む清水は諸白(お酒)であったが、怠け者の息子には水でしかなく、非難天のおおげに不徳を恥じ、悔い改めたといえが。

- 所在 D-4 強清水
- 現況 清水、案内板あり
- ※清水手前に駐車し見学



### 21 打替山・熊野神社

熊野堂東方に位置し、天喜3年(1055)源頼義、義家が陸奥征討に赴くとき武運を祈り熊野三社を勧請した。その後、三社は現喜多方市新宮などに移設された。

- 所在 A-2 熊野堂
- 現況 滅失、案内板あり
- ※水田に囲まれた周辺の農道から進入し見学



### 22 堂島・権現淵・最勝寺・熊野神社

柏原北の日橋川崖上に権現堂跡があり、川が渦巻くあたりが権現淵と呼ばれる。そばに八百比丘尼建立の最勝寺があったとされるが、天正時代の戦いで焼失した。

- 所在 B-1 柏原
- 現況 一部現存
- ※市道脇に駐車し注意して見学



### 23 古屋敷古墳群跡

柏原北東側の畑地の外れから昭和48年(1973)発掘調査された古墳群で、石積古墳が三基あり奈良、平安時代の須器の杯や直刀一振りなどが発掘されている。

- 所在 B-1 柏原
- 現況 山林、案内板あり
- ※水田に囲まれた周辺の農道から進入し見学



### 24 大和田柵跡

柵跡は宝勝寺周辺にあつたとされる。大和田の地名の由来は、三浦義明の三男大和田三郎義美が7の地に来たことからこの地名になったといわれている。

- 所在 A-2 大和田
- 現況 水田
- ※市道脇に駐車し注意して見学

